

善養寺便り

第十三号

平成二十九年新春号

発行 善養寺

◆二十八年「報恩講法要」

昨年十一月一、二日、当善養寺の平成二十八年の「報恩講法要」を勤めました。善養寺の報恩講は曜日に関係なく、毎年十一月一、二日と決まっています。「報恩講」は宗祖親鸞聖人のご命日（旧暦では十一月二十八日、新暦では一月十六日）に、親鸞聖人の恩徳に報謝する法要として、全国の浄土真宗のお寺では必ず営まれる大切な法要です。

「報恩講法要」の大きな特色は、「法中（ほつちゅう）」という、昔から特におつきあいのあるお寺同士が、お互いの報恩講にお参りし合います。法中同士、お互いのお寺で報恩講をお勤めすることは、誠に有り難く尊いことです。

写真は、一目目二座目の「阿彌陀経作法」による行道の様子です。

今年のご講師は、龍谷大学講師である溪英俊先生にお越しいただきました。親鸞聖人のご生



この和讃の意味は何となく理解できても、「真実信心を得る」ことはまことに難しいことです。念仏の要点は次の通りです。

「私の口から南無阿彌陀仏と出るのは、称えさせねばおかぬ仏心の表れである称える念仏が、私の念仏ではなく、称えさせて助けずばおかぬという仏の本願力が私の口に現れてくださるのです。その南無阿彌陀仏と称えさせる本願力を信ずるのです。」

（聖典セミナー「浄土和讃」本願寺出版より）

この文をお味わいください。

◆二十八年第三回仏教講演会

十二月十四日（水）第三回仏教講演会がありました。講師はおなじみの谷川弘顕先生でした。前回の続きとして「名号」についてのお話でした。

ご法話の最後にこんな素敵な言葉を紹介してくださいました。

何歳になっても自分に言い聞かせたい言葉だと思います。この言葉を今月の言葉とします！



これからが
これまでを 決める

（「藤島聰磨先生法語集」より）

涯の話を中心におみりのを分かり易くお話しいただきました。

先生のお話の中で、お寺は世間の常識の話を聞く場ではない。私たちの常識を越えた阿彌陀様のお悟りの話を聞くところである、という意味の話がありました。

常識を越えたところとはどいうことでしょうか。常識を越えるとは、「非常識」ではなく「超常識」ですね。

「超常識」とは、世間の常識つまり、人間のはからいを超えた、仏さまのお示しということなのです。ですから、超常識には現代科学も通用しません。まさしく人知を超えた仏さまの願いを私たちはただただ聞かせていただくのです。

「弥陀の名号となへし」

信心まことにうるひとは

憶念の心つねにして

仏恩報ずるおもひあり

この和讃は、親鸞聖人が著された「三帖和讃」の最初に出てくる和讃です。意味は

「弥陀の名号である南無阿彌陀仏を称えつつ、真実信心を得ている人は、如来の本願を憶念する心が常にあり、仏恩報謝の思いから自然に念仏が称えられるのである。」



◆「すみれの会」より

二十八年度「すみれの会」は六回開催しました。写経の会から始まり、写経以外のいろんな物作りをやってみようと始めました。来年度も、原則、毎月第一水曜日の十三時から開催する予定です。物作りに関し、何か特技をお持ちの方、また数人集まればこんなことが出来るという方、講師を大募集です。

また、参加者も大募集中ですので、どうぞお問い合わせください。

- 第一回 五月十二日 「いちご大福作り」
- 第二回 六月二十九日 「友禅染め」講師 坪田久子さん
- 第三回 七月十三日 「ちぎり絵」講師 内藤豊江さん
- 第四回 九月七日 「プリザードフラワー」講師 谷口裕さん
- 第五回 十月五日 「仮名書きでの年賀状作り」講師 善養寺前坊守
- 第六回 十二月七日 ランチと姫路市美術館「鈴木其一展」観覧

◆「元旦会（がんとんえ）法要」

今年も好天のもと「元旦会」法要を勤めました。恒例の伊藤典芳さんによる歌も楽しいひとときでした。今年は新しい試みとして、電子ドラムまで用意して歌って下さいました。毎年、伴奏もあらかじめ自分で演奏して、それを録音して元旦会に臨んで下さいます。また毎年、京都の限定お線香や姫路の有名店I屋の特注紅白じょうよなどが入った「お年玉（ねんぎょく）」

を用意してお待ちしております。来年も(こそは!)どうぞお参りください。

「元旦会」次第

一、読経「正信偈」

「現世利益和讃」

二、挨拶

三、伊藤展芳さん

ミニコンサート

① 仏教聖歌「ひかりあふれて」

② 「花束を君に」

③ 「上を向いて歩こう」

参加者全員での楽しい

大合唱となりました!

四、献杯

五、終わりの挨拶



◆二十八年度第四回仏教講演会のご案内

今年度最後の仏教婦人会の仏教講演会を左記の予定で開催します。どうぞ是非お聴聞にお越しください。男性の方も大歓迎です。宜しく願います。

記

とき 三月八日(水)午後一時半より

ご講師 安方哲爾先生(貝塚市)

十二月 第三回仏教講演会

十二月十四日(木)

講師 谷川弘顕師

◆「本願寺第二十五代専如門主伝灯奉告法要懇志」について

について

来る三月十一日(土)姫路中組各寺院が、現在開会中である本願寺伝灯奉告法要にお参りします。すでに希望者はそろい、あとは詳細な日程を再度調整します。当善養寺からは四十五名の方がお参りなさいます。

参加の方は、二月中には詳細がお知らせできると思いますが、今しばらくお待ちください。なお、一応募集は締め切っていますが、まだご希望がございましたら、一度お寺までご相談ください。

◆「本願寺第二十五代専如門主伝灯奉告法要懇志」について

昨年から、この法要の懇志として、多くの皆様にご浄財を進納していただきました。詳細は四月頃にお知らせしますが、現在、百万を超える懇志が集まっています。院号法名の申請を合わせますと結構な額が集まりました。本山から当坊に要請がありました進納額はとりあえず納めました。本山から当坊に要請が志の募集は継続しております。まだの方は何卒よろしくお願

◆平成二十九年善養寺年間行事

四月十九日(水)・二十日(木)

午後一時半から

「永代経法要」

講師 野村康治師(大阪市)

六月三日(土)午前十時から

「善養寺仏教婦人会総会並びに 第一回仏教講演会」

講師 安堂芳雅師(宇治市)

ゲスト フレッシュなゲストを現在交渉中

七月七日(金)午後一時半から

「第二回仏教講演会」

講師 谷川弘顕師

八月十三日ごろ 十八時より

「善養寺墓苑盆会法要」 善養寺墓苑

八月十五日(火) 十時より

「盆会法要」 善養寺本堂

九月 未定

十一月一日(水)二日(木)

「報恩講法要」

講師 栗原一乗師(三原市)

◆その他の行事等について

- ・ 昨年、九月に落語会をしましたが、今年は未定です。
- ・ 昨年、予告だけして結局出来なかつたのが、善養寺ゴルフコンペです。今年こそ、八月下旬頃実施予定!?

連絡

二十八年度護持会費をまだご納入いただいてない方は二月末までにご納入お願いいたします。

◆善養寺ホームページ

当坊のホームページは、二〇一四年十二月に開設し、すでに二年が経ちました。

一月二十日現在のカウンント数(累積閲覧数)は 3440です。

法要、行事は出来るだけ早く載せていきます。

門信徒の方で、当坊のHPとリンクしてもよい方があれば、どうぞ教えてください。また、こんなことを載せてほしい、載せたいとの意見があれば合わせてお願いします。

ホームページに関するご意見、ご要望等をお待ちしております。

<http://zenyouji-himeji.jp/>

姫路 善養寺 で検索